

相中だより

第 12 号



tel 74-2157
mail aikawa-js@sado.ed.jp

佐渡市立相川中学校

生徒数 1年 24名 2年 29名 3年 27名 計 80名
令和 7年 3月 24日 発行

教育目標

ともに支え ともに生きる
～仲間とともに地域とともに～

〔令和 6 年度 第 3 学期終業式講話(3/24)〕

VUCAの時代を幸せに生きるために

校長

3月10日(月)新校時表の試験運用が始まりました。大きな変更点は①朝読書の時間の確保、②昼休みの時間を5分延長です。もう、慣れましたか、不都合な点はないですか。何かあれば、校長室に立ち寄り、お話を聞かせてくださいね。

さて、私は朝読書の様子から、あらためて皆さんの良さに気付かされました。それは素直なところです。図書委員の呼びかけや先生方の説明を受けて始まった朝読書。その大切さを素直に受け止め、誰一人しゃべらない静かな教室で、全員が集中して自分が選んだ本を読んでいます。その姿に、大げさかもしれませんが、「VUCA(『先行きが不透明で将来の予想が困難な社会情勢』を表す言葉)の時代をたくましく生き抜けるのではないか。」と思いました。しかも、朝読書の開始時間前からその姿が見られます。さすが相中生です。

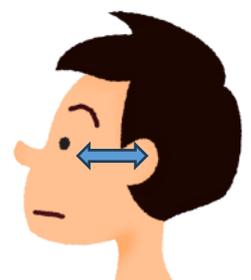
そこで今日は、VUCAの時代でも幸せに生きるために、「学ぶ」ということに対する考え方を増やしてほしい話をします。

皆さん、自分の顔で、目尻から耳の穴まではどのくらい離れていると思いますか。長年つきあってきた自分の顔ですから、知らないはずはないと思います。まだ触らずに、自分の手の指の幅、何本分離れていると思いますか。では、①指2本分くらいだと思う人、手を挙げてください。②指3本分?③指4本分?④指5本分?意見が割れましたね。どれが正しいのでしょうか。いよいよ実際にやってもらいます。手を当ててみてください。どうぞ。びっくりしましたか。なんと、指5本を当てても、まだ足りません。つまり、耳の穴は思ったよりずっと後ろにあったのです。皆さんが自分の顔を描くとき、正面から描くことが多いのではないのでしょうか。この場合、目尻と耳はすぐ近くにあるように描くこととなります。正面から見ると確かにそう見えます。でも、実際は違っていたのです。

それでは、どのくらい離れているか確かめてみましょう。まず、目尻と耳の穴までの長さを、このように測ってみてください。測った指の形をそのままにして、気を付けながら、自分の両目の前へ移動させてください。その長さが、ちょうど自分の両目の幅と同じくらいになるはずですが、目尻と耳の穴までの長さは思ったより離れています。このことに気が付いていた人はあまりいなかったのではないのでしょうか。

皆さんは、成長とともにたくさんのことを学習して、それを自分の知識として蓄えていきます。ただ、その中に自分の顔という身近なものですらそうだったように、本当は違うのに、あたかも「知っているつもり」になってしまっていることもあるのではないのでしょうか。自分もっている知識や常識、そして自分の考えなどが、本当に真実か、間違っていないか、常に見つめ直し確かめていくことが大切です。

学ぶということは、知識を得るということだけではなく、「それは真実なのか」と常に問いをもち、現実を見つめ追究し、よりよいものに更新できることも当てはまります。もしよければ、来年度の目標の一つにしてください。



第 22 回卒業証書授与式

<前日準備>

2月28日(金)、3年生は午前で下校し、午後から1, 2年生で力を合わせて卒業証書授与式の準備を行いました。

3年生への感謝の思いを胸に、仲間と協力しながら手際よく準備を進め、予定通りの時間で仕事を終わりました。自ら率先して仕事をこなす姿、頼まれれば快く引き受けて力を尽くす姿勢、いつもながらすばらしかったです。



卒業生と在校生が向かい合って
全校合唱「旅立ちの日に」

<式>

3月3日(月)、前日までの春の暖かさから一転、冷え込みの厳しい1日となりました。それでも、1, 2年生は先輩の門出を祝うため、礼法や歌声で頼もしい姿を見せていました。

とりわけ、3年生は、義務教育の集大成として凛々しい姿を見せ、胸を張って相川中学校を巣立っていきました。



担任による最後の学活

<義務教育最後の学活>

式典後、3年生は教室で最後の学活を行いました。

一人一人が、思いを述べ、仲間や先生方、家族への感謝の気持ちを述べていました。教室にいるすべての人にとって感動的な時間になりました。

<全校見送り>

終学活後、教室から生徒玄関までの廊下には、1, 2年生や教職員による盛大な見送りを行いました。紙吹雪が舞う中、笑顔や涙あふれる感動的な瞬間となりました。



在校生と教職員で、卒業生を盛大に送り出しました

新しい取組① 昼休みの卓球

今年度から実施している代議員会で、生徒から「昼休みに卓球ができる環境をつくれませんか」という提案がありました。その声を受けて、実現に向けてルールを決めたり、物品を用意したりして、先月末から使用できるようになりました。

開始日 2月27日 場所 視聴覚室

時間 昼休み

- ルール
- ・卓球の球は使用しない
 - ・卓球部も昼休み用の道具(ラケットや球)を使う
 - ・使用時は、使用者名簿に学年と名前を記入する

月曜：全校 火曜：1年 水曜：2年 木曜：3年 金曜：全校



卓球を楽しむ1年生

生徒から挙げた声を前向きに検討し、ルールを整備して実現していく姿は、まさに主体的な姿です。さすが、相中生！！



新しい取組② 朝読書

先月の学校だよりでもお伝えしましたが、3月10日（月）から、新しい校時表を試験的に運用しています。これにより、生徒は登校してから朝学活までの10分間（8:20～8:30）、読書を行っています。

近年、子供の活字離れによる読解力の低下が問題となっています。ネット上には情報があふれ、子供は見出しや画像、動画に注目しがちです。そのため、長い文章を読む習慣がどんどん減っていると言われています。

そこで、落ち着いた雰囲気の中で、ゆっくりじっくり活字に親しむ機会として、読書の時間を設けることにしました。読書の習慣は、生徒一人一人の読解力を育むだけでなく、豊かな感性を養い、ひいては学力向上につながると考えています。

読書が始まって2週間、それぞれが読みたい本を準備し、静かな落ち着いた雰囲気の中で、本に親しんでいます。



生徒も教職員も、静寂の中で読書を楽しんでいます

生徒会リーダー研修会

3月11日（火）から3日間の日程で、リーダー研修会を行いました。

生徒会本部役員、委員長、部長の計19名が集まり、来年度の相川中学校をまとめ、引っ張っていくための資質・能力を高めたり、リーダー同士の結束力を高め、協力し合う関係性を築いたりすることを目指しました。

初日は、校長先生から「みなさんには、大海原で船を照らす灯台のようになってほしい。それぞれが光を放ち、その光で相中を飛躍する方向へ導いてほしい」という激励のお話がありました。この言葉を聞いた生徒は、自分たちへの期待と責任を改めて実感し、俄然気合いが入っていました。

研修では、生徒自身が感じている現在の相川中学校を分析しました。相中（生）の伸ばすべきところと改善すべきところを出し合い、それらを克服するための具体的な取組や方策を練り上げていきました。研修のまとめとして、自分が所属する集団で、リーダーとして集団のために実行することを宣言しました。来年度の生徒会の活動が、今から楽しみです。



校長先生からの特別講義

朝のあいさつ運動

生活委員会では、毎朝生徒玄関であいさつ運動を行っています。

この度、あいさつ活動の強い味方となるものが学校に届きました。

それは、相川地区青少年育成協議会で作成いただき、先日学校に届けていただいた旗（のぼり）です。右の写真のように、旗には世界遺産の「道遊の割戸」や佐渡を象徴する「朱鷺」のイラストなど、佐渡の要素をふんだんに盛り込んだものです。

また、イラストとともに相中生が考えたあいさつ標語の入選作品も載せていただきました。

今回届けてもらった3本の旗は、新年度の青少協の街頭あいさつ活動で活用させていただきます。

相川中学校は、来年度も引き続き、あいさつ運動に力を入れて取り組んでまいります。



寒さにも負けず、精力的に活動しています



今年度最後の代議員会

3月18日(火)、今年度最後の代議員会が行われました。今年度の活動報告と総括を行い、来年度に見据えた話し合いが行われました。

会の後半には、3月から試験的に運用している新校時表について、意見交換を行いました。そこでは、朝読書の内容や昼休みの放送について等の意見が出され、よりよい取組(活動)にするためにどういう形がよいかを検討を行いました。

今回の提案や検討事項を来年度も引き継ぎ、よりよい生徒会、よりよい相川中学校を目指して活動していくこととなります。



リーダーたちが積極的に意見を出し合っています

各種結果

<特設陸上競技部> 第40回佐渡朱鷺健康マラソン大会
3kmの部 2位 1年男子

<英語検定>
準2級 3年女子

<漢字検定>
2級 2年女子
準2級 2年女子
準2級 2年男子
3級 1年男子
4級 1年女子



相中生のキラリ!

☆ 朝読書初日、1年生教室にて

朝学活を始めるとき、「読書を止めて本をしまってください」の一声がありました。これは、朝学活の進行表にはない一言です。自分で状況を考え、必要だと思う指示を全体に出した日直がいました。まさに「自分で考える力」「自分で正しく判断し、行動する力」を示した姿だと感じました。

☆ 3月の最初の清掃にて

3年生が卒業し、1,2年生だけの清掃がスタートした日でした。清掃終了まで残り2分。「ゴミ捨てに私が行ってきます！」の一言。誰かに指示されたわけでもなく、自分から率先して行動する頼もしい姿でした。3年生が卒業し、自分たちで相川中学校を引っ張っていく決意が現れていました。
1年部 副任より

☆ 卒業証書授与式に出席して

3月3日(月)の、第22回卒業証書授与式に出席させていただきました。気温の低い中でしたが、とても感動的な素晴らしい式でした。生徒さんと先生方の努力が詰まった素敵な卒業式でした。(送る方も送られる方も、素晴らしい態度だったということですね! 教頭)

学校運営協議員の方より

今後も、相中生の輝く姿を紹介していきます



保護者の皆さんへ(お詫びと訂正)

2月28日(金)に発行した学校だよりで、令和7年度年間行事計画を配布しました。そこで、令和7年度卒業証書授与式の日程が間違っていました。たいへん失礼いたしました。

誤	正
3月3日(火)	3月2日(月)

お詫びして、訂正いたします。なお、正式な年間行事計画は、新年度に改めて配布いたします。ご承知おきください。

4月(ゴールデンウィークまで)の主な予定

令和7年度		
4月		
8日(火)	新任式、始業式、入学式 PTA入会式(1年)	16日(水) 尿検査(1次)
9日(水)	全体指導	17日(木) 全国学力テスト
10日(木)	知能検査(1年) 生徒会オリエンテーション	23日(水) 3年生修学旅行(~25日)
11日(金)	身体測定 PTA本部役員会(※) PTA学年委員会(※)	30日(水) 部活動集会 代議員会
14日(月)	生徒朝会(応援団) 全国学力学習状況調査	5月
15日(火)	専門委員会	1日(木) 4限、給食後放課 佐渡市中教研一斉研
		2日(金) オープンスクール PTA総会
		※ 役員の皆さんはご予約ください



かけはし 63号

新潟県教育委員会から、教育広報誌「かけはし 63号」のホームページ公開についてお知らせが届きました。お時間があるときに、下のURLか右のQRコードにアクセスいただき、ぜひご覧ください。

URL <https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/1191169877149.html>



QRコード

保護者の皆さんへ(御礼)

本日をもって、令和6年度の授業が終了しました。

今日まで、相川中学校の教育活動にご理解とご協力をいただいたことにつきまして、心より御礼申し上げます。たいへんありがとうございました。

来年度も、職員一同、生徒とともに、地域とともに歩む学校を目指してまいります。

今後とも、何卒よろしく願いいたします。



保護者・地域の皆さんへ(来校の際のお願い)

2月28日(金)付で、以下の内容の案内文書を配布しました。保護者の皆さんだけでなく、地域の方々におかれましても、当校へ来校される際は、よろしく願いいたします。

保護者様

当面の校舎の出入りについて(お願い)

連日の寒波による強風の影響で、当校校舎の海側階段上部にある、屋根の一部(側面)が破損し、落下していることが判明しました。今後、強風の影響で破損部分から新たな破片が飛んでくる可能性があります。佐渡市教育委員会とともに、現在修繕に向けた準備を進めているところです。しかしながら、足場を組んだ大々的な工事が必要であること、冬期間による降雪や積雪があることから、すぐに作業に入ることが難しい状況にあります。

そこで、生徒の安全面を最優先に考え、当面は以下の対応をさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、この件につきまして、ご不明な点があれば担当までご連絡ください。

1 生徒の登下校方法

- 登下校の時間帯で**風速 10m 以上(※1)**の場合、生徒は社体玄関から出入りすることとする。 ※1 破損部分を現地で確認した施工業者から示された数値です

<登校時>

- ① 社体玄関でスリッパ(※2)を履き、外履きを持って生徒玄関に移動。
 - ② 生徒玄関の下駄箱に外履きを入れて、内履きを履く。スリッパ(※2)は所定のかご(生徒玄関に設置)に入れる。
- ※2 スリッパは、学校で用意します。保護者の皆さんもご利用ください。

<下校時>

- ① 生徒玄関に内履きを戻してスリッパを履き、外履きをもって社体玄関に移動。
- ② 履いてきたスリッパを社体玄関の所定のかごに戻し、外履きを履いて下校。

2 保護者の皆さんの来校方法

- ・ 来校の際は、生徒と同様の対応をしていただきます。

3 判断基準

- ・ 毎日、複数の予報を確認し、出入口を決定します。
- ・ 風速計を購入し、登校時、下校時の風速を実測します。

だれでモップ設置

上記の対応により、今後も社体玄関から生徒が出入りする日があります。外靴を持って、廊下を行き来することになるため、学校では生徒玄関と社体玄関に誰でも使うことができるモップを用意しました。名前は、誰でも使える「だれでモップ」です。雨の日は、外靴から滴った水滴が廊下に落ち、滑って転倒するなどの危険が想定されるため、だれでも気付いたときに拭くことができるように設置しています。生徒の自主的な行動を大切にしながら、生徒と職員が力を合わせて学校をきれいに保っていきたいと考えています。

